

RAKUSAI Pub.Lab.

Workshop Report vol.2



洛西ニュータウンのこれからを市民とともに考え、作り上げるワークショップ“RAKUSAI Pub.Lab.(洛西パブリカボ)”の2025年度2回目が7月26日に開催されました。

開催概要

日時 2025年7月26日(土) 10:00~12:30
会場 西京区役所洛西支所 2階 大会議室
参加者 23名

当日の流れ

- 1 はじめに
- 2 前回のふりかえり
- 3 ミニゲーム「自分の好きと得意を探る」
- 4 興味 de トーク
- 5 共有タイム
- 6 おわりに

お知らせ 「Rakusai Living Lab Week」

7月14日から20日にかけて「Rakusai Living Lab Week」が開催されました。公共空間を活用した市民・企業・行政の連携による交流促進の拠点（リビングラボ）の創造に向けて、実際の暮らしの中で試しながら育てていくみんなの実験室です。期間中はオリジナルクラフトビールの販売やDJイベントなどが開催されました。今後も定期的に開催されます。ご注目ください。



RAKUSAI Pub. Lab. について

本ワークショップでは、昨年度に引き続き様々な年代や知識を持つ人が集まり、対話やインプットを通して学び合いながら洛西の理想の未来を考えます。暮らしを豊かに、地域を良くするアイデアを話し合い、いくつかのチームに分かれて具体的な取組を考え、公共スペースを使ってお試しください。

スケジュール

- 1 6/21(土) 10:00-12:30
洛西Pub.Lab.について
- 2 7/26(土) 10:00-12:30
洛西でやってみたいことを考えよう
- 3 8/9(土) 10:00-12:30
企画をつくろう
- 4 9/27(土) 10:00-12:30
お試し実施にむけた準備をしよう
- 5 10月中旬
お話し実施
まちなかでのお試し実施
- 6 11/8(土) 10:00-12:30
お試しを振り返り、これからを考えよう
- 2026.2/21(土) 10:00-12:30
来年度の取組を考えよう

事例紹介

今年度のポイントである「取組を日常に馴染ませる」にあたって、事例紹介がありました。

▶ たべると暮らしの学校（北海道黒松内町）

北海道黒松内町では、まちの総合戦略を地域の若者と考え、4つの目標を掲げました。その目標をもとに、住民が楽しく学び、活動を生み出すワークショップを開催。6つの部活（取組アイデア）が誕生し、翌年度以降自分たちで活動を実践していくことになりました。活動の自走にむけて事前に社会実験を行ったことで、今後の活動場所を得られ、取組は5年以上続いています。長く取組が続いているポイントは、「**日常の延長にある活動**」といえるでしょう。それぞれが気になっていたこと（移住者との交流の場がない、若者が集まれる場所がないなど）や、好きなことややりたいこと（みんなでご飯を食べる、子どもの夢を応援するなど）を軸に、自分たちができることを持ち寄ったことで、無理を感じず自主的に続けることができています。

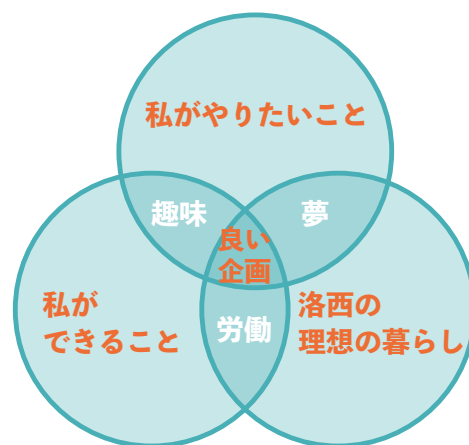


ポイント

- ・参加者の得意なことや好きなことに着目
- ・活動頻度もさまざま（年1回から週2～3回）
- ・社会実験は友だちを3人連れてくる気持ちで

ミニゲーム「自分の好きと得意を探る」

良い企画を考えるための「3つの輪」について説明がありました。長続きする良い企画には、①自分がやりたいこと、②地域の理想の暮らしに求められていること、③自分ができるとの全てが備わっていることが大切です。取組アイデアを考える前に、ワークシートを使って「3つの輪」を書き出し、テーブルのメンバーと共有しました。



話し合いの5つのテーマ

前回出されたキーワード

1 食

- ・ビアパーティ、麻雀大会
- ・まちなかやタウンセンターでの移動式コーヒースタンド & オープンカフェ

2 豊かな自然の活用（竹）

- ・竹の取組（流しそうめん、工作、ギネス）
- ・日常的に自然・林業に触れられる仕組み
- ・洛西の自然を充分に感じられる場づくり

3 子ども

- ・超ビッグなダンボールオセロで遊ぼう
- ・こどもたちがまちを良くする実践の場
- ・中高生なども参画した交流の場

4 交流

- ・犬好きが集まるドッグラン & カフェ
- ・定期的な「ゆる〇〇会」
- ・老若男女問わず関われる地域活動

5 地域とつながる

- ・昨年度の取組の改善、バージョンアップ
- ・イベントでの情報発信
- ・困りごとを共有できるネットワークづくり

前回のワークショップ結果をふまえて提案された5つのテーマから好きなものを選び、どんな取組ができそうか話し合いました。以下は2回の話し合いで出された意見の概要です。

1 食

洛西に「食を通して人が集い、新しい出会いが生まれる」取組として、洛西の食材を持ち寄った「ホーム（まち）パーティー」、マルシェや洛西の店舗で購入した食材を屋外でみんなで料理する「青空シェアキッチン」のアイデアができました。また、ゆくゆくは持ち寄る食材を「コミュニティ菜園」など地域の人々でつくることで、生産と消費の循環を生み出す取組にしたいと話し合いました。



キーワード

交流のきっかけづくり

屋外空間の活用／シェアキッチン

コミュニティ菜園／地域循環

2 豊かな自然の活用（竹）

洛西の「自然（竹）」をどのように生かすか、竹だけでなく大原野の田畑も含めた自然とどのようなつながりを作っていくかという視点でアイデアが広がりました。日常的に目にするものに素材としての竹を活用する、にぎわいの場で竹を使ったテントや屋台を使う、子どもたちの遊びや工作体験に竹を活かすなど、幅広いアイデアを出し合いました。



キーワード

ものづくり／自然とのつながり

子どもの体験／素材としての竹

サブセンター活用／にぎわいの場

3 子ども

洛西ニュータウンの中に、青少年センターのような様々な世代の子どもたちが集まれる場所をつくることを最終目標に、こどもたち自身が心地よい居場所について考えるワークショップや、実際に空間をつくってみるプログラムなどのアイデア出ました。その他に子どもたちの学びの場や、子どもを見守りながら親が休める居場所づくり、子どもと楽しめるお店やイベントの情報発信などの意見もありました。



キーワード

子どもの遊び場／子どもの基地

子どもが考える居場所づくり

親の憩いの場／情報共有・発信

4 交流

これからの交通を考えるための調査やペットを通じた仲間づくり、食によるコミュニケーションなどのアイデアが出ました。これらを実現する場として、サブセンターの活用が話題になり、若い世代が使いやすい仕組みづくりや近隣の空き店舗の活用などにもアイデアが広がりました。また、サブセンターを使ってほしいと思う世代のニーズ調査もできたと話しました。



キーワード

交通量調査／サブセンター活用
協働できそうな仲間探し
若い世代の関係づくり

5 地域とつながる

自治会の活動を改めて見直し、地域とのつながる場として活用するアイデアが出ました。今の活動を見直すことのほかに、新たな自治会の活動としては、地域の情報や楽しみのシェア、自治会と地域の店舗がつながる仕組みづくりなどがあがりました。また、団地はコミュニティが生まれやすい環境であるといった意見も出ました。



キーワード

自治会／活動の見直し／
情報のシェア／楽しみのシェア
地域循環



今回は子どもたちの参加も多く見られました。パブラボでは、お子さんの参加も大歓迎です。

次回に向けて

パブラボに新しい仲間が加わり、昨年とはまた違った新たな企画が生まれそうです。今回は5つのテーマをもとに多くのアイデアが出されました。次回は、そこからさらに深めて企画化を目指すチームをつくります。



studio-L
厚毛さん